

入園おめでとうございます

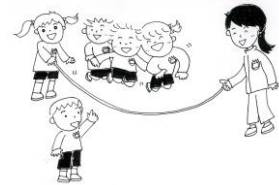
いよいよ皆さんは青南幼稚園の仲間になります。おめでとうございます。

ご家庭で愛情に包まれて過ごしてきたお子さん、そして保護者の皆さんにとっても、初めての集団生活は、期待と喜びと同時に不安もあることでしょう。入園まであとわずかですが、楽しい園生活を送ることができるように、心の準備や生活の仕方も整えていきましょう。

《教育目標》

よく考えて遊ぶ
友達をたくさんつくる
じょうぶな体をつくる 青南の子

保護者の皆さんと幼稚園が、お子さんの小さな成長を共に喜び、悩みを共有していきたいと思います。共有することで、うれしいことは倍に、大変なことは半分になるようになります。子育ての楽しさを感じられるようにすることも、幼稚園の大事な役割です。幼稚園に通う毎日が、子どもたちにとっても、保護者の皆さんや私たちにとっても、深く心に刻まれ、その後の人生を支える「心のふるさと」となるよう日々を一緒に創り出していきましょう。



1 青南幼稚園の教育

<常に笑顔で、前向きに>

感染症と共存しながらの生活が1年を過ぎ、子どもたちが毎日幼稚園に元気に通って来ることが決して当たり前ではないことを誰もが感じています。制限されることが多い中では、物事を前向きに受け止める構えがとても大切です。幼稚園における遊びや生活は、人との関わりが前提のものばかりです。子どもの視線に合わせて気持ちに寄り添って、触れ合いを大切に…。感染予防の観点からは難しいこともあります。プラス思考で対応していきます。



<青南をみんなの心のふるさとに>

青南幼稚園は都心にありながら、豊かな自然環境に恵まれています。そして、その豊かさを生かした豊かな体験をたくさんし、さらに環境を整える取り組みも子どもたちと一緒にしています。園庭には竹もあり、4月にはたけのこがぐんぐん生長しましたが、それを支えているのは、直径3～4cmもある太い根っこです。その根っこがあればこそ、勢いよく伸びる竹があるのです。幼児期は、人としての根っこを育てる時期です。土作りや水やりなどはしますが、育つ力は子ども自身の内にあるのです。皆さんと一緒に今年できることを考えながら「心の根っこ」を育てていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



<大きく変わる社会で生きる土台づくり>

社会や生活様式は大きく変わり、知りたいことは、スマホやパソコンで検索すれば、ある程度は分かってしまいます。ですから、これからの社会を生きていく中で大事なことは、知識の量や他人より早く何かができることではなくなっています。では、今求められている力とは何でしょう？

★多少の不安があっても、試行錯誤しながら前に進む力。自分で決めてやってみる構えが大切です。

★いろいろな人との交流や協力なくしては、どんな事業も成し遂げられません。仲間と一緒に一つのことを作り上げていく体験、その過程でじっくり育つ他者への信頼感は、幼稚園教育でこそ育ちます。

★そして、それらの全ての土台となるのが、自分自身への信頼です。

幼稚園は、遊びや生活を通して人としての生き方を学ぶ、教育の場です。いわゆるお稽古事や習い事をする場ではありません。幼稚園教育で一番大事にするのは、構えです。

家庭や幼稚園や地域の中で、自分は愛され、守られているという実感をもつことができれば、それが安心して行動するための原動力となります。誰にも得意なことも、苦手なこともあります。そのことを自然に受け止め、ありのままの自分でいいという自己肯定感は、自分だけでなく、人に対する優しきの源泉ともなるのです。

困ったときに、周りにいる人は必ず自分を助けてくれる。この「人に対する絶対の信頼感」があれば、これからの人生で必ず出会うであろう様々な出来事を前向きに捉え、多少の困難な事態にも、柔軟に前向きに関わっていくことができるはずです。

② 家庭と幼稚園との協力が大事です

子どもたちは、これから日々の遊びや生活の中で様々なことを学び、少しずつ成長していきます。保護者の皆さんも、子どもを介した出会いをきっかけに新しい仲間づくりができたらすてきです。子育ての第一義的責任は家庭にあります。それは基本ですが、子育ては一人ではできません。これからは、幼稚園がお子さんを育てる仲間になります。

子どもたちの小さな成長と一緒に喜び、つまずきや悩みを分け合う仲間だと思って、不安や悩みを一人で抱え込むことなく、何でもご相談ください。

私たちは、幼稚園という集団生活の中での子どもの育ちや友達関係の広がりや深まりについて実践を通しての知見を蓄えてきています。保護者の皆さんと楽しい園生活を創り出してきた実績があります。右の「みなときっずなび 育ちと学びをつなぐ 家庭で大切にしたいこと ハンドブック」の作成には、本園の先生たちも直接関わっているのです。



※港区ホームページ
トップページ>子ども・家庭・教育>
学校・幼稚園・家庭>幼児教育

この冊子は、3～4歳のお子さんをもつ保護者の皆さんが、園と一緒に子育てを楽しむように作成されたもので、この中では、3歳児の発達の姿を次のように表現しています。

自分の世界を広げるとき、自分の思いを出せるが、出すのはそのときのご機嫌しだいの3歳児

具体的な発達の姿

基本的な運動機能が伸び、それに伴い、食事、排泄、衣類の着脱なども自分でできるようになってきます。話し言葉で、盛んに質問するなど知的興味や関心が高まってきます。自我がよりはっきりしてくるとともに、友達とのかかわりが多くなりますが、基本的には自分中心です。

<トイレの自立について>

3歳児が園生活を始める際に、一番大事になるのが、生活面の自立です。そして、その際に鍵となるのが、トイレの自立です。

幼稚園に入る頃には、いろいろなことが自分でできるようになり、自由を獲得していきます。しかし、オムツだとその始末は

誰かにしてもらわなければなりません。一番根本のところ、自由を獲得できていない状況なのです。その状態で、何かを身に付けていっても、それは砂上の楼閣となりかねません。オムツからの卒業は、自尊心に関わる重大なことなのです。

とは言え、できないことを叱ってはかわいそうです。やり方を教え、できたら、「その方が気持ちいいね」、「かっこいいね」と笑顔で伝えていけば、必ず自分から卒業していきます。まずは、できるところから始めてみましょう。

③ 送迎や欠席連絡などについて

*登降園は、「バラ門」(正面玄関 向かって右側)からとなります。

密を避けるために、登園・降園時刻を分散しています。時間より早くいらしても開門していません。一般の方の通行の妨げにならないよう、決められた時間内の登園にご理解ください。

○登園時刻 3歳児 8:45～8:55 4歳児 8:55～9:05 5歳児 9:05～9:15

○降園時刻 弁当あり 3歳児 13:30 4歳児 13:50 5歳児 14:00

弁当なし 3歳児 11:30 4歳児 11:50 5歳児 12:00

*日々の降園時刻は、毎月の園だより等でお知らせいたします。

*入園当初は保育時間を短くし、園生活に慣れるにしたがって、降園時刻を徐々にのばしていきます。

*保育時間は園の行事等により変更することがあります。園だよりや掲示でご確認ください。

- ・ 誘拐、交通事故防止のため、送り迎えは必ず保護者の方をお願いいたします。やむを得ず他の方をお願いする場合は、事前に園にご連絡ください。小、中学生は保護者とはみなしません。
- ・ 送迎も含め来園される際は、クラスカラーのネームプレートを見える位置に着用ください。(入園式に配布)ネームプレートの用紙が足りない場合は、職員室にお知らせください。
- ・ 公立幼稚園では徒歩での通園が原則です。やむを得ず自転車で登園する場合は、安全のため、近隣の方々との良好な関係を保つためにも路上駐輪はお控えください。